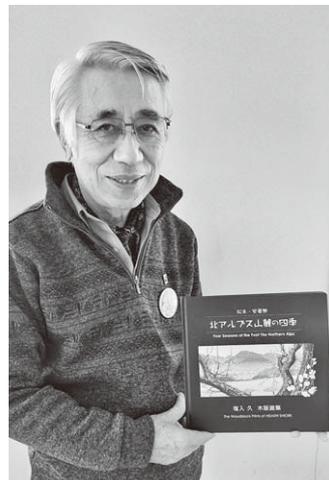


飛翔 (安曇野/穂高/狐島) 有明山 2013年 40.0×102.0cm

作品は十数部限定です。まず版木を彫ります。大きさは、例えば県知事賞をもらった「春がすみ」ならば



木版画家 塩入 久さん

どのようにして、この繊細で夢のように美しい風景版画が出来るのか。

私の住んでいる城東地区元町上町会の自慢は、毎月のカフェや、盆踊りや夏祭りや文化展などですが、今のコロナ事情により、ほとんど休止状態なので、今回は町会の自慢の人を紹介します。

展示会や、カレンダーや、画集や、新聞などで木版画家の塩入久さんをご存知の方は多いと思いますが、塩入さんは、我が町にお住まいです。創作に打ち込む心などをお聞きしようと、近くの城東公民館でインタビューをさせていただきました。

わが町自慢

— 元町上町会 —

木版画家
塩入 久さん

城東

●城東地区●
1917世帯
男 1727人
女 1854人
合計 3581人
R4.3.1現在

102センチ×40センチで、他には、畳1枚ほどの作品もあるそうです。彫り上げた版木に、50色近い色を次々に塗っていくのは、聞いていてただけで、気の遠くなるような作業です。色の薄い順に、一色ずつ塗っては和紙を重ねて摺り、摺り終わったら紙を外し、色の部分を削って新しい色を塗り、先に摺った同じ紙を重ねて、また摺ります。

これを50色50回。10部の作品を作るためには他に50回の削りと、500回の色塗りと摺りをしなければなりません。一色でも紙がずれたら台無しになるため、すごい集中力が必要です。版木の木目で透明な空気感を表現するので、繊細極まる作業です。電話も切って、8時間以上ぶっ続けでやるそうです。

一作品は完成までに数カ月から1年、30年で2000作品ができました。それも、たったの9年前までは、会社にお勤めの傍らに創作していたのです。すごいですね。

版画をみれば、何よりもその美しさに感嘆ですが、その「すごい」塩入さんは、肩の力の抜けた気さくな方で、「好きな版画に夢中になって遊んでいるのは、楽しい」と。今もいろいろな賞を受けています。御嶽海の優勝を長野県民が喜ぶように、塩入さんの活躍を、松本市民、とりわけ我が町の住人は喜んでいきます。泉の如く湧き出てくる作品を、これからも楽しみにしています。(石上)

災害発生時に復旧までの数日間を避難所ではなく自宅で過ごすためには、食料や日用品などを備蓄し用意する必要があります。具体的には何をどのくらい用意すれば良いのかと云うことがあります。手近なところで先日配布された松本市ハザードマップの裏には備蓄品・非常持ち出しのリスト等が掲載されており、まずはこれが参考になると思います。また、本やインターネットでは色々なチェックリストが公開されているので、使いやすいものを探してみても良いのではないのでしょうか。

災害発生への備え

食料品の備蓄について

非食用
岡の宮西町会

一般的に備蓄品の必要量は、支援物資が来るまでの数日間分を、できれば1週間分と言われています。正直な感想としては、リストに上がっているもの全部について必要とされている量を揃えて家で保管するのはとても難しいと思います。我が家では、いざという時に困るのは自分なのでまずは食料品を中心に我が家の状況を調べて見ました。

その結果、①飲料水が足りない②期限切れのものがある(特に防災用の長期保存のものや飲料水)

コロナ禍により家で過ごす時間が増えたため、世間の方々と同様に家の中の不要品の整理を始めました。その中で、棚の奥から期限切れの非常食が出てきたことをきっかけに、災害発生時の備蓄品について調べてみたのでご紹介させていただきます。

③レトルトカレーやカップ麺などは買って使っても使っても備蓄されない
 ④缶詰などは種類が偏っている

などの問題が分かりました。特に、飲料水は重く、場所を取るので補充せず必要量の一人一日2〜3リットルに対して全く足りなかったの、反省してすぐに購入しました。(全滅しないように保管は場所を分散した方が良いでしょう)

②④の対策については、ローリングストックという方法が提案されているので試してみようかと思っています。色々な方法がありますが、賞味期限が近いものごとに箱にまとめて分けて、定期的に1箱ずつ消費してその分を補充するというものです。あまり知られていませんが3月、6月、9月、12月のそれぞれ1日は「防災用品点検の日」として制定されているそうなので、それを目安に実施するのも良いと思います。(関東大震災にちなんで9月1日が防災の日で、それを含む3カ月ごとの1日)

皆様それぞれのご事情により様子は違うと思いますが、何かの参考になれば幸いです。(小島)

可燃物収集場所の カラス対策 曙町会



曙町内では可燃物収集場所となっている公園でカラスおよび野良猫などにより可燃ごみを荒らされて大変苦慮しています。最近では野良猫での被害は減り、荒らしているのはカラスが主体になっているようです。

公園は子供たちの遊び場であり町民の憩いの場です。そこにゴミの散乱している光景は、大変不快であり不潔です。町内会衛生部ではゴミ出しの時間を決め、袋に必ず名前を書き、残飯の出し方に注意をする等お願いをしてきました。しかしこの程度ではカラスの知恵には勝てず特に春先の繁殖期には激しく荒らされているのが現状でした。そこで、何とかならないかと町内衛生部が主体となり対策を進めることになりました。

対策1

現状の「カラス除けネット」(写真①)が小さいためにネットからゴミ袋がはみ出しているのではないかとということで、ネットの大きさを1.5倍にして様子を見てみるこ



写真①



写真②

としました。結果は以前同様カラスに荒らされ効果はありませんでした。カラスはネットの中に入り込み食べ物を探しているようでした。

対策2

「カラス除けネット」を可燃物の袋に直接かけるのではなく「カラス除けネット」とゴミ出し用の袋が触れないように(写真②)の方法をとることとしました。結果以前よりも荒らされることは少なく



写真③

しかし、この箱型の回収箱は高価であり、現状の我が町会では購入資金もなく設置する適当な場所もないため見送りとりました。そこでインターネット内で何か良い方法はないか探してみることとしました。

なりましたが完璧ではありませんでした。また「カラス除けネット」が大きくなった為にネットその物の重量が増し高齢の方には取り扱いしにくいことも判明しました。そこで何か良い方法はないかと他町内の様子を見て回りました。手作りで物置型の回収場所を確保しているところもありましたが、ほとんどのところが「カラス除けネット」をかぶせる方法でした。完璧なのはマンションなどに設置されている箱型の回収箱で、これは完璧です。



写真④

対策3

ネットで出来た箱型のごみ収集箱(写真③)を見つけ、これなら値段的にも使いやすさも適当ではないかとなり購入することになりました。使用時に組み立て、使用後に折りたたんで(写真④)片付けられることができる物です。必要な時のみ設置することで公園が有効に使用でき又ゴミ出し日以外の日にゴミを出されることもありません。衛生面でも問題がありませんでした。しかし心配しているのは盗難と耐久性です。盗難にあわず長持ちすることを願っています。

今後はもうしばらく様子を見て結果が良ければ町内7カ所の可燃物収集場所にも順次購入設置していく予定です。(金子)